

氏名： 熊谷 圭知 (KUMAGAI Keichi)
所属： 人間文化創成科学研究科人間科学系
職名： 教授
学位： 修士 (社会学)
専門分野： オセアニア地域研究
E-mail： kumagai.keichi@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

地域／文化／開発／ジェンダー／パプアニューギニア
Region / Culture / Development / Gender / Papua New Guinea

◆主要業績

総数 (3) 件

- ・片山一道・熊谷圭知編 (近刊)『オセアニア』(朝倉世界地理講座 第15巻), 朝倉書店。
- ・片山一道・熊谷圭知 (近刊)「オセアニアという世界」, 片山・熊谷編 所収。
- ・熊谷圭知 (近刊)「パプアニューギニア—変容するロカリティと国家の揺らぎ—」, 片山・熊谷編所収。

◆研究内容 / Research Pursuits

1. ローカル・センシティブな「開発とジェンダー」研究の構築
本年度は、代表者を務める同名の科研の最終年度にあたり、3回の研究会(7月、12月、2月)を実施した。7月には、これまでの研究課題を確認、12月の研究会では、開発実務・実践に関わるJICA職員、元専門家などをゲストに、研究者と実践者の協働可能性について議論し、2月には成果刊行書の内容について議論した。
2. オセアニア地誌の編集と執筆
朝倉書店刊行の新世界地理第15巻の『オセアニア』の巻について、共同編集者として全原稿を閲読の上、コメントを作成し、著者とのやり取りを行った。コラム・年表等を企画し、原稿依頼および監修作業を行った。同書は、本年度中に刊行予定である。
3. パプアニューギニア地域研究
2008年7～8月に3週間の現地調査(東セピック州クラインビット村、首都特別区)を実施した。成果の一部は、国立民族学博物館の共同研究会、および日本地理学会特別講演等で報告した。



◆教育内容 / Educational Pursuits

1. 学部授業
1) 人間と空間, 2) オセアニア社会文化論 I, 3) LA 科目「地域と風土」(地域研究), 4) グローバル文化学総論 I (共同担当) ほかを担当した。
2. 大学院授業
1) 開発地域文化論演習 (前期), 2) 環境文化論 (後期) を担当した。
3. 論文指導
1) 主指導教員を務めてきたるジェンダー学際研究博士課程の課程修了論文 1 編 (木村オリエ「ジェンダーの視点から見た都市郊外空間の変容と住民の地域参加」) を, 主査として担当し, 修了させた。
2) 学部においては, 卒業研究 4 名の指導を行なった。
このほか, グローバル文化学環コース主任として, HP の更新, 卒業研究の規定作成などに尽力した。

◆研究計画

1. 「ローカル・センシティブな開発とジェンダー」研究の構築
本年度中に執筆者から原稿を集め, 科研成果報告として一般書を刊行する予定である。現在出版社と交渉中の段階にある。同書は, 地域研究とジェンダー研究の間の架橋をもたらす貴重な研究となると期待している。
2. パプアニューギニア地域研究
本年度は, 分担者として参加している科件費研究会の最終年にあたり, 現地調査のほか, パプアニューギニア大学等で, 共同シンポジウムを実施する構想がある (現在, 先方と日程等について協議中)。パプアニューギニア研究をめぐる, 日本人研究者とパプアニューギニア研究者との相互交流と共同研究の重要な機会となることを期待している。

◆メッセージ

私がはじめてパプアニューギニアの地を踏んだのは, 1979年12月でした。今年でちょうど30年になります。その間, 首都ポートモレスビーの掘立小屋集落や, 奥地の村に住み込みながら, 人びとの生活を聞き取り, 研究してきました。この30年間, 人々は変わりましたが, 掘立小屋集落や村の状況はほとんど変わって (改善して) いません。地域研究というのは, 地域の特徴を記述し分析するのが仕事ですが, それだけでは遠く離れた地域を「他者」として眼差すだけで, お互いの力関係や「格差」は変わらないままです。研究と実践の二分法を柔軟に乗り越えるための方法論の構築という課題に, 同様の志向性と大きなエネルギーを持った学生の皆さんと一緒に取り組みたいと思っています。